

事業名 劇団TPS光州演劇祭参加事業

団体名 財団法人北海道演劇財団

韓国演劇協会光州広域市支会より招聘を受けて、劇団TPSが光州平和演劇祭に参加した。この光州平和演劇祭には、地元光州広域市やプサン広域市、インチョン広域市、ウルサン広域市などから8劇団が参加し、海外からの参加として劇団TPSが招聘された。

演 目 / TPS公演「冬のバイエル」作・演出：斎藤歩

開催日時 / 2007年11月14日(日) 19:00 開演

2007年11月15日(月) 19:30 開演

開催会場 / 文芸会館小劇場(光州広域市)

出 演 者 / 永利靖 林千賀子 宮田圭子 内田紀子 高田則央 斎藤歩

スタッフ / 照明：1名 音響：1名 舞台スタッフ：1名 演出助手：1名

字幕・通訳：1名 制作：1名 プロデューサー：1名

公演報告 / 公演数・・・2ステージ

入場者数・・・375人(14日165人、15日210人)

【公演の効果等】

観てくれた観客に深い感動を与えると同時に、受け入れてくれた光州の演劇関係者に大きな演劇的影響を与え、演劇協会や文化芸術委員会との交流、光州平和演劇祭や光州民主化運動記念館の見学などを通して、北海道と光州の相互理解を深めた。

また、この作品の翻訳台本に触れたソウルの演出家と劇場が、ソウルでの「冬のバイエル」2ヶ月公演を企画するなど、北海道の演劇文化を拡げるきっかけとなった。

同時に、北海道演劇財団とソウル演劇協会との交流事業が進展中で、これに沖縄、北京の演劇祭のリンクが計画されている。このように、北海道とソウル・光州の演劇交流事業、それを通じた芸術文化の相互影響が幅広く行われることにより、ややもすれば、道内に閉じこもりがちであった北海道の演劇が、海外で紹介される機会を得た。

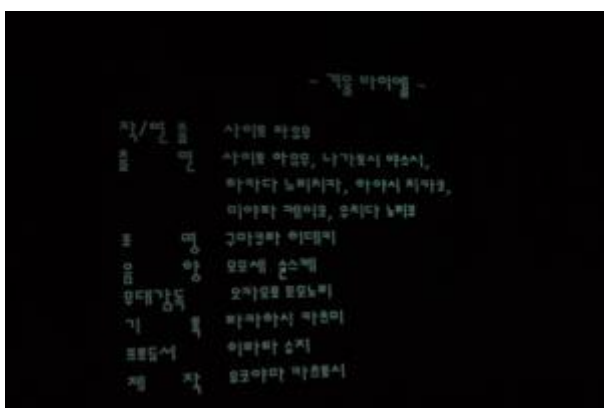
【今後の活動計画】

優れた演劇を札幌で創り続けると同時に、発信事業の拡大に努めたい。

TPSは、まず、2008年5月にソウル演劇祭で公演する。同演劇祭は、戯曲審査を通過したソウルの劇団のみが参加する韓国でもっとも伝統ある演劇祭であるが、栄えあるその第1回外国劇団参加枠に選ばれたものである。その後、韓国議政府(5月)、沖縄(7月)、東京こまばアゴラ劇場(8月)の各演劇祭に参加する。2009年には、オーストリア、ハン

ガリー、ルーマニア公演を企画中である。

北海道演劇財団は、ソウル演劇協会との交流事業協定にのっとり、ソウル演劇祭と札幌劇場祭の大賞受賞作品の相互訪問公演実現に努めていきたい。



撮影：高橋克己

